

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和3年度 第3回麻溝地区まちづくり会議(書面会議)				
事務局 (担当課)		麻溝まちづくりセンター 電話042-778-2381(直通)				
開催日時		令和3年9月13日(月)~9月29日(水)				
開催場所						
出席者	委員	22人(回答あり)				
	その他					
	事務局					
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	
公開不可・一部不可 の場合は、その理由		書面会議のため				
議 題		1 議題 (1) 幹線快速バスシステム導入推進事業の今後の方針について (2) 地域活性化事業交付金の申請について  2 報告 (1) 令和3年度麻溝地区まちづくり会議日程表について				

## 議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。( は委員の意見、 は事務局の説明)

( 審議を書面等で行った理由 )

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員等が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により委員の意見を求め、回答を得る方法で会議の開催に代えることとした。

### 1 議題

#### ( 1 ) 幹線快速バスシステム導入推進事業の今後の方針について

市交通政策課から、幹線快速バスシステム導入推進事業の今後の方針に係る、資料の提出があったことから、委員の意見、質問等を求めたもの。

《主な意見・質疑等》

新しい交通システム導入基本計画( B R T 導入推進事業 ) は、南部地域の高い交通需要に対応し、信頼できる公共交通機関で主要駅や拠点施設へのアクセス性の向上を図るものであり、麻溝地区が南区の一員として発展していくためにも大変重要な施策である。既存の路線バスシステムの改善等では対処できないことから、多くの時間と労力をかけて策定された計画だと認識している。

交通渋滞が常態化している県道 5 2 号の拡幅事業が進むまで、事業効果が見込めないことは当初から指摘されていたことである。必要性は何ら変わらず、安易に計画を廃止するのではなく、一時凍結とするのが最善の方法と考える。

当面は、県道 5 2 号拡幅事業の早期完了に集中して取り組み、ある程度整備が進んだ段階で、改めて新しい交通システムの議論をすべきである。

県道 5 2 号の先行着手区間を見る限り、工事がストップした状況に見受けられる。いつ工事を再開するのか、予定を周知して欲しい。

まず拡幅整備をして、どれくらい渋滞が緩和されたかを見極めてから、快速バスの導入を検討すべきだったのではないかと。凍結ではなく事業そのものの廃止というのも、おかしい話である。

幹線快速バスの利用客数の予測、利用料金の設定はどうなっているのか。20年後にはベビーブーム世代がいなくなる。人口動態をきちんと把握して算出すべきである。また、県道 5 2 号の拡幅整備は、当初からバス専用レーンを設置すべきだと考える。

県道 5 2 号拡幅事業の早期進捗とともに、麻溝地区まちづくり会議の専門部会である道路交通部会での検討をすべき。

本年 4 月の「相模原市行財政構造改革プラン」では、計画期間中に検討・調査は実施しない。「新しい交通システム導入基本計画」の廃止を検討する。

県道52号等を走行するバスの速達性や利便性の向上を図る施策を次期交通計画へ位置づけ、取組を進めるとある。

平成28年の計画策定からなかなか進展がみられなかった本事業であるが、上記を踏まえ、市交通政策課の今後の取組方をみると、今後は単に県道52号の拡幅整備のみで終わり、定時性・速達性や利便性の向上といった計画当初の目的の達成はあまり期待できないのではないかと懸念されている。

今後の方針に「県道52号の拡幅整備を予定通り実施、将来的に整備が進んだ段階で、バス優先レーンを検討」とあるが、整備する前に検討しなければ、「バス優先レーン」の設置は困難ではないか。「バス優先レーン」を設置するのであれば、事前にその区間を明確にし、道路工事を行うべきと考える。

導入計画に沿い、ターミナルとなる女子美術大学を經由したルートを開設されれば、相模大野駅、古淵駅の他に、原当麻駅からの通学ルートが確保できる。ただし、導入計画では、中期が計画策定から概ね5～10年、長期が概ね10年から20年ということなので早期の策定と実施をお願いしたい。

また、風水害時（城山ダムの緊急放流）の避難場所として、市民健康文化センターやギオンアリーナが追加指定されたが、避難移動のための交通手段が少ないと聞く。女子美術大学を經由したルートが確保できれば、原当麻駅方面から坂を上ってくる方々の避難対策にもなると考える。

運転免許の返納に伴い、通院・買い物などが不便になってしまったという声をいただくことも増えている。高齢化に伴い、外出に課題を抱える方が増える中、麻溝地区では福祉施設と連携して外出支援策を検討している。ライフステージに応じて多様な選択肢が提供できることを期待する。

地域住民や大学病院利用者の公共交通機関依存度を増加させるためには、新交通システムの早急な導入が必要。一般走行レーンがまだ多いことが課題である。

今回示された今後の方針では、資料の「本事業における当初の目的」にある課題に対して、十分に対応し、改善される案が提案されていない。このような変更が行われる理由を説明してもらいたい。

#### 《結果》

委員の意見は、まちづくり会議役員会に諮り、麻溝地区まちづくり会議の意見として取りまとめ、市交通政策課へ提出することとなった。

#### (2) 地域活性化事業交付金の申請について(1件)

「麻溝の地域遺産普及啓発事業」を実施することについて、事業の実施可否及び意見等について書面により審査した。

《主な意見・質疑等》

○代表者等、団体の内容がよくわからない。

《結果》

○賛成 2 1 反対 1

事業の実施について意見を求めた結果、本案件については承認すべきものと決定した。

2 報告

( 3 ) 令和 3 年度麻溝地区まちづくり会議日程表について

まちづくりを考える懇談会の中止の決定に伴い、今年度の開催スケジュールについて報告した。

《主な意見・質疑等》

○特になし

以 上

## 麻溝地区まちづくり会議 委員名簿

	団体名	委員		まちづくり 会議での 役職
		団体での 役職	氏 名	
1	麻溝地区自治会連合会	会長	中島 勝平	会長
2	麻溝地区自治会連合会	副会長	伊藤 信裕	
3	麻溝公民館	館長	山口 誠	副会長
4	麻溝地区社会福祉協議会	会長	境 勉	副会長
5	麻溝地区民生委員児童委員協議会	会長	春山 すみ子	副会長
6	麻溝観光協会	副会長	井上 時雄	
7	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	座間 正見	
8	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	加藤 賢次	
9	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	箕輪 良市	
10	麻溝地区老人クラブ連合会	会長	浅原 寿郎	
11	麻溝地区子ども会育成連絡協議会	会長	福田 豊	
12	麻溝地区青少年健全育成協議会	会長	井上 國雄	
13	麻溝商工振興会	会長	石原 武	
14	麻溝公民館運営協議会	委員	本多 展克	
15	当麻地区まちづくり委員会	会長		
16	相模原市スポーツ推進委員	委員	小泉 勉	
17	相模原市青少年指導委員	代表	山口 隆	
18	相模原市農協麻溝支店運営委員会	委員長	政木 晃	
19	相模原市消防団南方面隊第1分団	分団長	井上 歩	
20	麻溝小学校PTA	会長	近藤 義紀	
21	夢の丘小学校PTA	会長	小林 大介	
22	相陽中学校PTA	会長	岡田 洋子	
23	市場地区計画検討委員会	委員	石井 英和	
24	学校法人 北里研究所	次長	村川 健一	
25	学校法人 女子美術大学	校友室主幹	友部 徳寿	
26	麻溝地域包括支援センター	管理者	細山 賢太郎	
27	学校法人光明学園 相模原高等学校	校長	天野 雅秀	
28	県立相模原養護学校	支援連携 グループリーダー	富樫 幸乃	